

SEEEグラウンドアンカー工法 (ダブルアンカーA型、U型、M型)

【有効期限】 令和11年8月9日

【取得会社】 株式会社エスイー

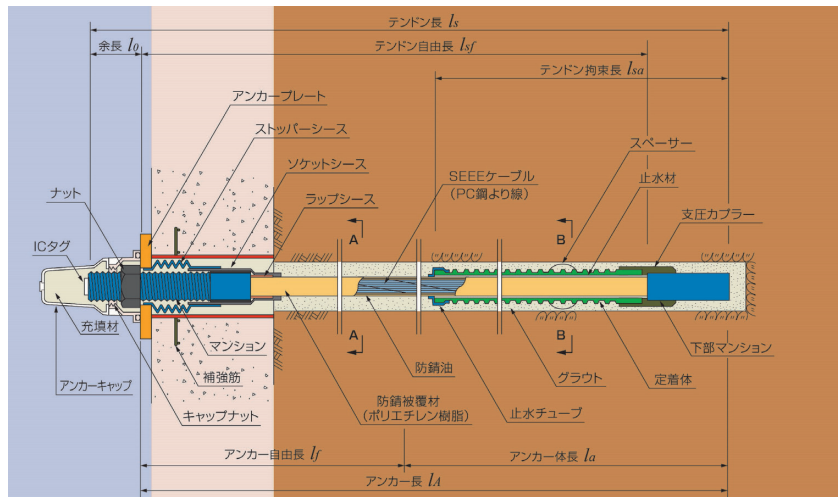
【技術詳細に関するURL】 <https://www.se-corp.com/>



技術の概要

SEEEグラウンドアンカー工法はナット定着方式を採用しているため、頭部定着具の定着機能の維持や、緊張力を変更するため調整性能に優れた構造となっている。また、テンドン全長にわたって二重防食構造とすること、およびその他の材料や構造により、グラウンドアンカーとしての長期耐久性を確保している。

このように、SEEEグラウンドアンカー工法は、材料的および構造的に、耐震性、維持管理、長期耐久性に優れたアンカー工法である。



ダブルアンカーU型

審査の結果

【頭部定着具の耐震性】

ナット定着方式の頭部定着具は、衝撃荷重載荷試験結果および地震時を想定した衝撃荷重、地震を受けたアンカーの調査等により、定着機能の維持を有すると認められる。

【材料性能による耐久性】

被覆材として用いられるポリエチレン樹脂は、アンカーの一般的な使用環境下を想定した耐薬品性試験では材質の劣化を生じ難く、防錆油も併用し十分な耐浸水性を有することから、材料的に見てテンドンは長期にわたり耐久性を保持できると認められる。

【構造性能による耐久性】

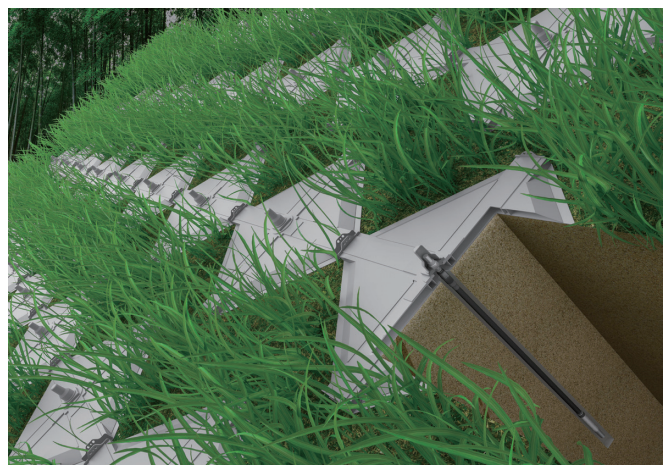
ダブルアンカー A型、U型、M型は全長にわたり二重防食構造を施すことで、各部分の水密性および強度は一般的な使用環境下で長期にわたり耐久性を保持できると認められる。

【緊張力調整の性能】

頭部定着具にナット構造で、供用中に地盤変形や地震等の影響でアンカー緊張力が変動してもマンション上部で緊張力を変更することができること、およびマンション上部のネジ長により調整が可能であると認められる。

【摩擦抵抗が小さい地盤への適応性】

ダブルアンカー M型の長尺耐荷体はその構造により、第三紀の泥岩・シルト岩・凝灰岩等、膨潤やスレーキングを生じやすい岩盤や粘性系地盤のように、摩擦抵抗が小さい地盤に対して有効であると認められる。



施工イメージ